

令和4年度

朝霞市立朝霞第三中学校

勤労・生産体験



第2学年
特別支援学級

特色

- 本校では、学校の近くに地域の農家の方から畑をお借りし、2学年と特別支援学級が、総合的な学習の時間や作業学習の時間を使って、サツマイモやラディッシュ・枝豆等の野菜の植え付けから草取り、収穫まで行い、栽培活動の知識と技術を習得することをねらいとした農業体験をしている。また、この体験を通し、命の大切さや環境問題等に係る学習にも取り組んでいる。

生徒の感想

- 実際に作業すると、農家の人の大変さがわかり、毎日の食事を大切にしようと思った。また、苦勞して育てたことで、実際にミニトマトや枝豆ができたとき、とても感動した。鉢植えと畑で育てる違いなど、農作業の知識も増やすことができた。

成果

- 一連の農業体験活動を通して、多数の生徒が、農作業の楽しさや大変さ、互いに助け合い・協力することで手にする収穫の喜びや自然環境や食物の大切さを学ぶことができた。
- 特別支援学級では、栽培した作物を販売する活動を通して、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学ぶことができた。
- 学校ファームの設置により、農家の方ばかりでなく、保護者や地域の方から指導や援助を受け、地域の輪が広がった。